

1859

対象疾患	逆流性食道炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍
使用する治験薬	D961H カプセル 10mg、D961H 懸濁用顆粒 10mg（プロトンポンプ阻害薬）〈経口薬〉
治験デザイン	<p>Group1：初期治療期（8週）、D961H 10mg 1日1回；維持療法期（24もしくは44週）、D961H 10mg 1日1回投与する。</p> <p>Group2：初期治療期（8週）、D961H 20mg 1日1回；維持療法期（24もしくは44週）D961H 10mg 1日1回で開始し、治験責任医師等の判断により 20mg 1日1回へ増量する。</p> <p>Group3: D961H 10mg 1日1回（32もしくは52週）投与する。</p> <p>Group4: D961H 10mg 1日1回で開始し、治験責任医師等の判断により 20mg 1日1回へ増量する（32もしくは52週）。</p> <p>全ての Group においてカプセルあるいは懸濁用顆粒製剤を選択することができる。</p>
参加いただける患者さんの条件	<p>以下の条件を満たす方が対象となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 逆流性食道炎の維持療法 <ul style="list-style-type: none"> - 中央評価委員会の判定により、内視鏡的にロサンゼルス分類で Grade A 以上の逆流性食道炎であると確認された患者 ■ 非ステロイド性抗炎症薬又は低用量アスピリン服用中の胃潰瘍/十二指腸潰瘍の再発抑制 <ul style="list-style-type: none"> - 過去の上部消化器症状、便潜血、EGD 所見等により、胃潰瘍/十二指腸潰瘍を有していたと判断できる患者 <p>※ 上記の条件は概要であり、これらに該当していても参加できないことがあります。</p>
治験責任医師	小児科 横山 忠史
治験依頼者	アストラゼネカ株式会社
備考(企業 HP 等)	